

自己評価結果公表シート（令和4年度）

作成 千里丘学園幼稚園 幼稚園番号 80061

1、本園の教育目標

『かがやく瞳』 教える保育からひきだす保育へ。
心身ともにたくましく自分を素直に出し表現できる子どもに。

- ・健康安全な生活に必要な習慣や態度を身につける。
- ・感性豊かで意欲や創造性を培い表現力を豊かにする。
- ・友達を大切に思いやりの心を育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

◎学年ごとにクラスの連絡を密に日々の反省をし、発達段階に合った年間計画の指導の下、月案週案・日案の立案。また、指導内容によっては、学年ごとのたての連携も図る事。

◎特別指導(感覚教育)

音感指導－音楽を通して意欲・意気込み・意識・集中力・忍耐力・協調性を養う。

器 楽－楽器の基本的な扱い方を知る。

楽器の種類によって音色の違いを知らせ、演奏の楽しさを知る。

英 会 話－楽しく遊びながら身体で覚える。

3、評価項目の達成及び取組状況

評 価 項 目	取 組 状 況
教える保育からひきだす保育へ。	幼少期に生きる力の基本を作り、自分で考え、自分で前に進める力を養ってやるを行っている。
環境をとしての保育。	空間、物、人、四季折々の変化等、教師は自ら環境作りに努め、幼児たちがそこで遊ぶ居場所を作ってやる。それがはね返ってきて教師の手ごたえとなり、教師同士の一体感が生じる保育を行っている。
教材研究に努める。	幼児の無限な想像を広げる教材であることと、基礎をしっかりと培い、それを自ら応用して展開できる教材であるように教材研究を行っている。 ＝ 教師、幼児共に歩むこと ＝
音感教育を通して人としての基礎を培う。	音感教育は特別なものではない。人間教育(保育)である。先ず、歌以前に人としての基礎を育む躰に手を抜かず「心の強さ」という精神力を養うことより真の優しさが養われる保育を行っている。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

取り組むべき課題や問題点について一人一人が共通に理解し自由に意見交換し、今後の保育の資質向上につながり本年度の目標と計画をそれぞれ実践することができた。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
教師像	目配り・気配り・心配りを常に忘れず、保育に満足感が味わえること。 心身ともに健やかで感性豊かな包容力があること。 子どもの心の動きを感じ取り、心が通じ合うこと。 個性を尊重した保育、個性豊かな行動力があること。 指導する保育と待つ保育を知り、やる気を起こさせる援助が出来ること。
更なる教育内容の充実	園内外研修等をさらに充実させ、伝統ある本園の教育にさらに磨きをかけ、教職員一同がそれぞれ切磋琢磨し、幼児たちの教育に努める。
IT化を導入(ランネットワークの構築)	ペーパーレス化等を図り全教職員にタブレット、ノートパソコン、パソコンを支給。これにより情報を全教職員が共有する。(会議の内容、研修内容等)
勤務時間の厳守	全体、学年、個人で動く時間帯を把握し、効率よく行動すること。 周1回のハッピーデーの導入

6、学校関係者の評価

令和4年度に向けて学校関係者の評価を実践していく予定である。

7、財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。